

セレネ
ティムの婚約者で伯爵令嬢
廃嫡の件を知り伯爵家を出奔
ティムと共に冒険者になる

ティム
元子爵家の長男
祝福の儀で生活魔法しか適性がない
ことが判明し、追放されてしまった

せ、セレネ！
せっかく引き受けて
くれたんだから！

受付で言ってた
案内人ってアンタ
のこと？

ああ俺の名は
ジャック、斥候を
やってる

おいおい
これでも凄腕で
通ってるんだぜ？

フーン…
あまり有能には
見えないけれど

受付では
オススメって
聞いたけれど…
とんだ外れ
みたいね…

さっきから
胸に視線が
集中してるの
バレバレなん
だけれど…

まあいいわ
これでティムの適性を
開花させるアイテムを
採りに行けるわね

はあ…
他にもっとマシ
なのはいなかった
のからしら…



また淫紋が
広がってるな
ティムにシて
もらってない
のか？

っ…
言われなくても
やってもらって
るわよ…！！

ただ…
ティムじゃ上手く解呪
できないから
こうしてあんたに
頼んでるんだよ！

ああゝ悪い悪い笑
確かにティムは
こういうのは向いて
なさそうだもん笑

……っ！
わかってると
思うけどこれは
治療行為だから
変な気を起こさ
ないでよね

わかってる
わかってる笑

そっちこそ
「治療行為」で俺に
本気になるなよ笑

はあ?!
なるわけない
でしょっ！

嫉妬の淫紋
定期的に発情する呪いが
発生し他者からの性的接触で
絶頂すると解呪出来る。

クク…
俺が仕掛けた罠
だとも知らずに
バカな女だぜ…

ティムの奴は
順調に解呪に
失敗してるな
この呪いの
本当の効果も
知ったらどんな
顔するだろうな笑

あ…
ジャック
遅かったわね…

よおセレネ
ティムのヤツは？

…ティムなら
希少素材の採取
依頼に行かせたでしょ

さっき出て行った
ばかりだから
2、3日は戻ら
ないはずよ…

ああ…
そうだった
そうだった

可哀そうになあ笑
大好きな婚約者に
追い出されちゃった
んだった笑



だ…だって
従わないとおまんこ
してくれない
じゃない…♡

へへ
そんなときはティムに
してもらえば
いいじゃないか

それにしても
すげえ恰好だな
誰も元伯爵令嬢だって
気が付かねえよ笑

あ、あなたが
言ったんでしょ…♡
俺が楽しめる恰好で
出迎えるって…♡

あーそうだった
そうだった笑
よく似合ってるぜ笑
まるで娼婦だ笑

…おら…
いつもみたいに
跪けよ…♡

あ…♡はい…♡
すぐに…♡

…っ♡
で…っ出来ないって
知ってるクセに…♡

ジャックに解呪を頼むようになって数か月…淫紋は完全に誤った形で定着してしまいもう私の身体は彼に逆られないよう徹底的に隠けられていた

今日もコイツが
いいのか？

あ…ああ…♡
それっ…
それがいい♡

完全にハマったな笑
別にちんこじゃなくても
解呪できるんだぜ？

や…ついやだ…っ
指だと何度も
何度も寸止めして
遊ぶでしょ…っ♡

おいおいそれは
お前が処女だけは
許してくれって
わがまま言った
ときにお仕置き
しただけだろ笑

あん時結局お前が
我慢できなくなつて
処女膜差し出して
きたんだよな笑

や、やめろ…♡
嘘を言うなあ…♡

おいおい
忘れたのか？
コイツの前で
土下座して
誓っただろ♡

最高だったな
貴族の宣誓ってやつ？
あれ、王族に忠誠を
示すようなやつだろ？
まさか俺の笑
それもちんこに
するとか笑

…っ？！

あ…っ♡
あ…っ♡

やめて…♡
言わないで…♡

これ…っ♡
ずるい…っ♡
この匂いを嗅ぐと
身体が一切言うことを
聞かなくなる…っ♡

血筋も素行も最悪♡
貴族令嬢の私ですら
性処理か金を稼ぐ道具
としか見てない…っ♡
こんな最低な男なのに…っ

淫紋が脳に直接命令を
流し込んでくる…っ♡
この男に服従しろっ♡
この男の子を産めっ♡
♡♡♡

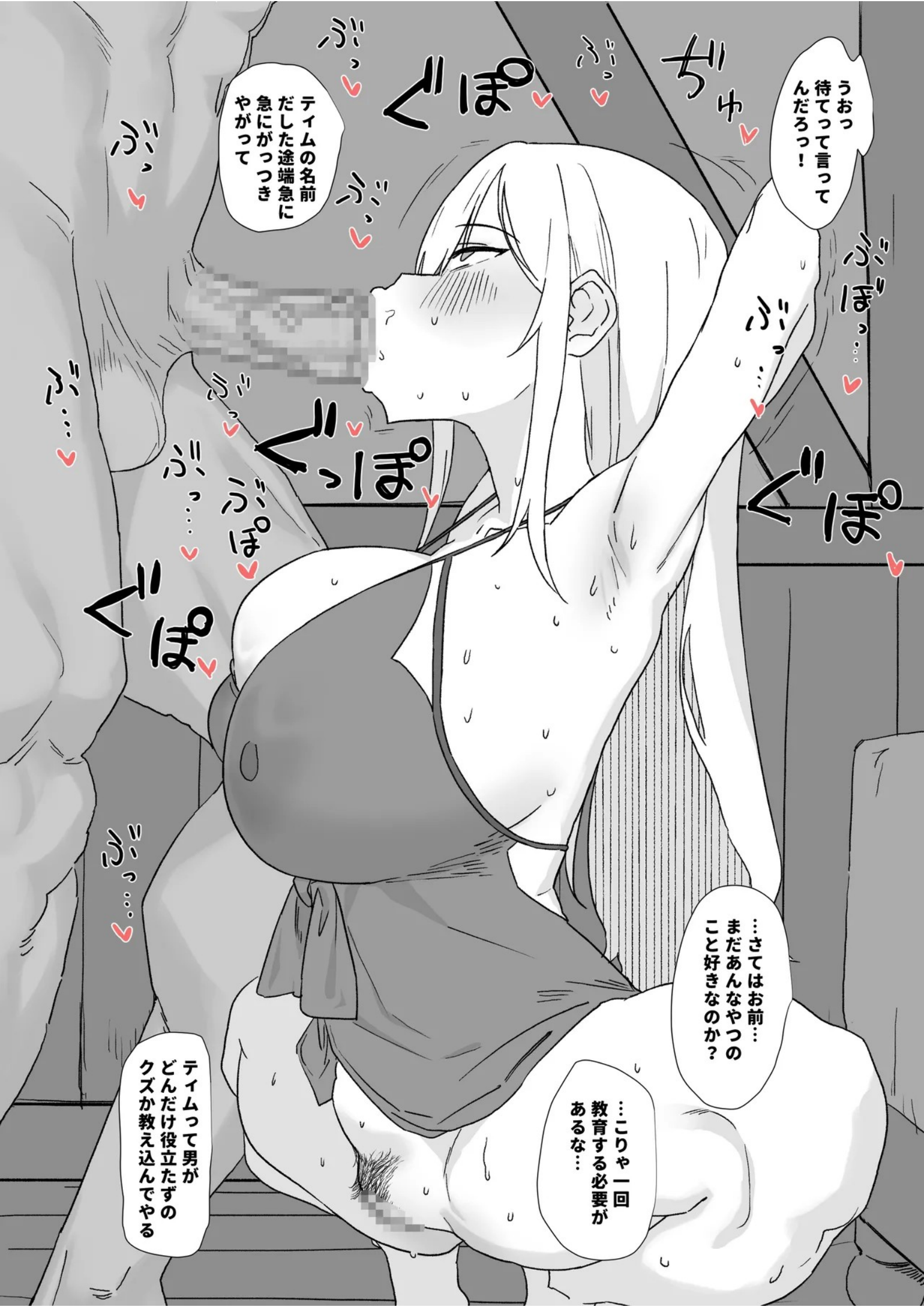
うおっ
待てって言うて
んだろっ！

ティムの名前
だした途端急に
やがって

…さてはお前…
まだあんなやつ
のこと好きなのか？

…こりや一回
教育する必要が
あるな…

ティムって男が
どんだけ役立たずの
クズか教え込んでやる



んっ
あいつはっ
ろくな適性もっ
持ってねえっ

あいつはっ
ろくな適性もっ
持ってねえっ

んっ
あいつはっ
ろくな適性もっ
持ってねえっ

採取だつてゴミ
ばっか拾ってくるっ
完全な足手まとい
なんだよっ!

金も持ってなけりゃ
アソコも
小せえときたっ!

あ
そんな男をつ
いつまでもっ
好きでいるんじやっ
ねえよっ!

あ
そんな男をつ
いつまでもっ
好きでいるんじやっ
ねえよっ!

戦闘でも役立たずっ

体力もねえから
荷物持ちにも
ならねえっ

アイツが
どんだけ男として
終わってんのか
わかんたろっ!

おらっ射精すぞ!
アイツの薄い精子と
比べながら飲めっ!

あ
おらっ射精すぞ!
アイツの薄い精子と
比べながら飲めっ!

ガッ

ガッ

ド
チュ

ド
チュ

ド
チュ



ちっ…俺の女の中
にいつまでも居座りやがって…
あのガキのせいで
イライラしてきたぜ

マジで半端な殺し方じゃ許さねえぞ…

………!!
そうだせレネ
お前、伯爵家に戻れ

っ?!

はーはーはー
ちよつと待って
ジャック…

さっきの…
家に戻って…
ということ？

ああ？
そのまんまだよ
伯爵家つていやあ
相当資産があるんだろ？

お前と結婚すりゃ
一生遊んで暮らせる
こんな上手い話
なかなかねーぞ笑

できっこないわ…
私出奔してるのよ？
今更帰れるわけ
ないでしょ…！

ああ、それなら
問題ねえ…
タイムに攫われた
ことにするんだよ笑

フキ
フキ

フキ
フキ

はあ…?!

タイムに攫われた
お前を俺が助けて
伯爵家まで護衛する

そんな俺に惚れ込んだ
ご令嬢は新たな
婚約者として
俺を迎え入れるって
わけだ、完璧だろ？

むっ無理に
決まってるわ！
いくら何でも結婚は
無理よ…！

ソクッ

ソクッ

もちろん伯爵令嬢の
元婚約者を攫った
不届きもののクビを
持っていくのさ笑

お前一人娘って
言ってたろ？
大切な跡取り娘を
助けた手柄って事で
親父に頼みこめよ

フキッ♡

フキッ♡

フキッ♡

…あ……っ
…ん……っ

…そ、それでも
難しいわ…

血筋の確かな人間で
なければ婚約は認めて
もらえないのよ…っ

ち……っ！
だめじゃねえか！
これだから
貴族ってやつはよお

…あ……っ

あ……っ

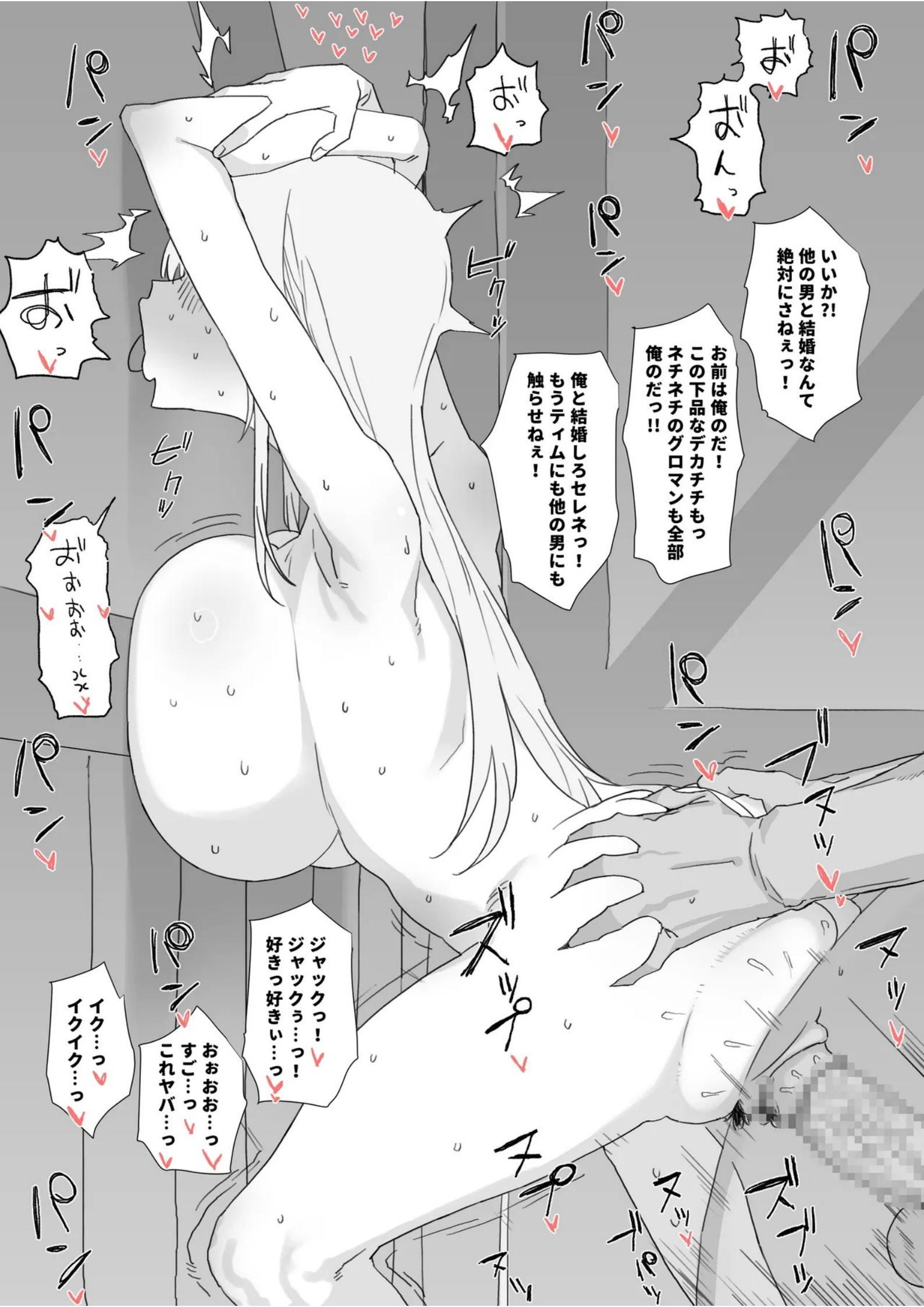
……っ

そ、それに廃嫡された
とはいえティムだって
元貴族なのよ…っ
勝手に殺したら
まずいわ…！

そうだ！
み、身柄と引き換えに
私の専属護衛
としてなら
雇えるはずだから
それで…！









はあー...はあー...
わかったかセレネエ...
お前は俺の嫁になるんだ...
俺のガキ孕むんだよお...

奴隷紋…？
知り合いに頼めば
用意できるけどよ
そんなもん何に
使うんだ？

ん…ふう…
もちろんティムによ
アレにお金を稼がせて
私たちに貢がせるのよ

そうすれば結婚も
できるし、家に
戻らずお金も手に
入るわ

だがよお
あいつろくに
金なんて稼げ
ねえだろ

だから覚醒
させるのよ
あなたを雇ったの
だってもともと
ティムを覚醒させる
ためだったのよ



an an ~~~~~
~~~~~+~~~~~  
~~~~~

その覚醒とか
したところで
役に立つのか？

戦闘には役に
立たないけど…
希少採取と
高度錬金術を
使えるように
なるわ

お金を稼ぐ
手段には困らないわよ
ティムの家の人間は
最後まで気が付かな
かったみたいだけど…

ハ…ッ

へえ…
そりゃいいな

でしょ？
それを知ってたから
彼を見捨てないで
あげたんだもの…

た…が…

ただセレネ…
この期に及んで
ティムのこと考えて
ないよな？

フ…ッ

ニ…ッ

キ…ッ

ニ…ッ

キ…ッ



な？俺の言った
とおりだろ？
女はセックスで
男を選ぶんだよ

……ホント
サイテーね…っ
そういうところも
好きよ…っ

フー…
そろそろ
射精すぞ…

フフ…
あなたのせいで
私の価値観…っ
おまんこ基準に
なってるわ…っ

…あそこだって
小さいしね…っ

手マンは痛いし
クンニも下手くそ
いいところが
一つもないわっ

もう…
当たり前でしょ
…？







は...

いっ...

いっ...

いっ...

いっ...

いっ...

いっ...

いっ...

いっ...

いっ...

いっ...

いっ...

いっ...

いっ...

いっ...

いっ...